



DuEX ニュースレター

弊センターでは、センターにおける活動を広く認知していただくため、在職されておられた教職員の皆様の在職時に行っておられた業務・取組や近況について、また DuEX 奨励金を獲得された皆様が奨励金獲得期間中に取り組んでおられた研究やインターンシップを通して学んだことおよび現職での近況についてコラムを通して、大学関係者、学生、企業の関係者の皆様へご紹介することにより、広報してまいります。

MMDS 在籍時の活動と近況

名古屋大学理学研究科で、数理モデル駆動とデータ駆動を組み合わせた生命・医療データ解析研究に従事しています。MMDS 在籍時、特に思い出に残ったことが 2 つあります。1 つは、阪大の学部生への講義担当「高度情報リテラシー」「機械学習入門」です。文系・理系問わず高校数学をきちんと学んでいる阪大生の特性を生かし、彼らの数学や情報科学の素養をさらに磨くべく、チャレンジングな問題演習を選択レポートとして課しました。熱心な学生たちが、授業を盛り上げるなど全体の集団をひっぱってくれました。期末試験でも最高得点の一人は文系の受講者でした。私自身、情報科学の理論体系を網羅的に勉強するよい機会になりました。もう 1 つは、鈴木貴先生にお勧めいただいた、雑誌「応用数理」におけるチュートリアル連載（細胞生物学の数理、4 回）です。執筆には苦心しましたが、これまでにないアイデアをいろいろ盛り込むことができました。Twitter や対面でも反響があり、連載を読んだ方に講演に呼んでいただいたりもしました。その他、種をまくにとどまり、やり残したこともいろいろありますが、今後少しずつ発展させていければと思っています。



中村 直俊

(名古屋大学大学院 理学研究科理学専攻)
専門: システム生物学・医学

阪大雑感

数理・データ科学教育研究センター（MMDS）において、2017年4月から2022年3月まで特任事務職員として教務事務関係の仕事をさせていただいておりました。その後、数理人材育成協会で数ヶ月お世話になりました。退職後は特に何かを行うということもなく日々を過ごしております。

そのような日々ではありますが、私には、ここ数年の社会の関心の統計学からビッグデータ、AIへの移り変わり、それらの成果の社会への還元のスPEEDは大変興味深いものと映っております。特に昨年からのChatGPTやStable Diffusionなどに代表されるAIへの関心の高まりと成果につきましては、現役であれば、なにか仕事に活用できないかと考えていたであろうと思っております。右図は、Stable Diffusionを用いて20語ほどの簡単な英単語で作成したものです。

もう少し早く在職中に一般でのAI利用の波が来ていればMMDSの先生方に雑談の中ででもこの状況についてお聞きできたのではと思っております。最後に、AIの活用と懸念されている脅威が議論されておりますが、MMDSはその最先端の研究、教育で大きく貢献されるものと思っております。



森川 潔

近影?! Stable Diffusionで作成
(元 大阪大学 MMDS センター事務)

[今後のお知らせとご報告]

- 6/24（土）全国合同インタラクティブマッチング（2023年度大阪）開催
 - HP: <https://ddrive.jp/event/interactive/94.html>
- 「MMDS 数理・データサイエンス・AI エキスパート人材育成コース」受講申込受付中
 - HP: https://www-mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/for_all_organizations_and_persons/for-graduate-student/index.html
- 「数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム」の依頼により、拠点校として特定分野会議（理工系）を主催しました。また、「応用基礎レベル（理工系）モデルシラバス」(http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/activities5_sc.html)を作成しました。

[編集後記]

- 今年度も当センターの広報の一環としてニュースレターを発行していきます。少しでも多くの方の目に留まればと思っております。寄稿いただいた皆様、ありがとうございました。（編集長 小串）
- ご寄稿賜りました皆様ありがとうございます。一瞬違和感を感じることも、新発見や奥深さ等に繋がる面を共有できればと考えております。本年度よろしく願いいたします。（副編集長 梅垣）